

第12回 日本核医学会 北日本地方会

日 時：昭和 57 年 11 月 5 日（金）
 会 場：新潟大学医学部大講義室
 世話人：新潟大学医学部放射線科
 酒 井 邦 夫

目 次

1. 慢性甲状腺炎のシンチグラムの検討	西沢 一治他	243
2. 副甲状腺シンチグラフィー	伊藤 和夫他	244
3. Scintadren を用いた副腎シンチグラフィー	松平 直哉他	244
4. Injection 法による天幕下および天幕上下同時脳血管血流測定の検討	高尾 公時他	244
5. 回転パイラルコリメーターによる心拍同期心筋断層シンチグラフィー		
—基礎的検討と臨床応用について—	駒谷 昭夫他	245
6. 左室拡張動態の解析—基礎的および臨床的検討	高梨 俊保他	245
7. HBs 抗原測定値の再現性に関する検討	村木 秀樹他	246
8. 核医学的検索が有用であった肝 FNH の一症例	小倉 浩夫他	246
9. ^{99m}Tc スズコロイド肝シンチにて肺描出を示した症例の分析	白土 博樹他	246
10. 肝細胞癌の腫瘍倍加時間 (tumor doubling time) について	小田野幾雄他	246
11. 食道機能の核医学的検査 (2)—RI ボーラス移行時間とキモグラフ—	奥山 信一他	246
12. ^{11}CO による局所肺機能検査の評価	古館 正従他	247
13. ^{67}Ga シンチグラムのイメージ向上の試み—modified double window—	西沢 一治他	247
14. 乳癌経過観察における骨スキャンと予後因子との関連について	戸川 貴史他	247

一 般 演 題

座長のまとめ (1~3)

西沢 一治 (弘前大・放)

内分泌では、甲状腺、副甲状腺、副腎の 3 題が報告された。筆者ら(弘前大)は慢性甲状腺炎における ^{99m}Tc と ^{201}Tl のパターンの組合せを検討し、 ^{99m}Tc で Hypo-active, irregular, ^{201}Tl で Hyper-active, homogenous パターンが特徴的であると述べた。伊藤ら(北大)は、 ^{201}Tl を用いた副甲状腺シンチでの、 ^{99m}Tc の併用によるサブトラクション法の有用性について報告した。術前の局在診断はやや難があるが、retrospective な診断率は 83% であるとした。甲状腺疾患を伴う症例では、サブトラクション法にも限界があると報告した。松平ら(秋田大)は、 ^{75}Se -scintadren による副腎シンチの経験を

述べた。最初に dexamethasone 投与下に撮像し、次いで投与中止後に再撮像することにより、1 回の投与で抑制、非抑制の両者のイメージングが可能であるとし、原発性アルドステロン症その他の症例を示した。

1. 慢性甲状腺炎のシンチグラムの検討

西沢 一治 甲藤 敏一 神谷 受利
 佐藤 信子 (弘前大・放)

慢性甲状腺炎に対して ^{99m}Tc と ^{201}Tl の両者を併用して Scintigraphy を施行し、その成績と集積パターンの組合せについて検討した。 ^{99m}Tc の結果は、 ^{131}I と同様に、集積は低下し、かつ不均一なものが 57.7% と最も多く認められた。これとは逆に ^{201}Tl では集積は増